

パネルディスカッション2

「非 *HP* 非 NSAID・難治性胃・十二指腸潰瘍の診断と治療」

司会 村上 和成（大分大学医学部消化器内科）

加藤 元嗣（北海道対がん協会）

胃・十二指腸潰瘍の2大原因は *H. pylori* 感染と NSAID である。*H. pylori* 感染率の低下や除菌治療の普及、さらには NSAID 潰瘍に対する PPI/P-CAB 予防によって潰瘍の発症率は低下している。厚労省調査では胃潰瘍はピーク時の4分の1、十二指腸潰瘍は10分の1に激減している。一方、相対的に非 *HP* 非 NSAID 潰瘍の頻度が増加している。潰瘍成因は感染、薬剤、過酸、炎症、虚血、特発性に分類されるが、最近是好酸球性胃腸炎、NHPH 感染などの報告が多い。この主題では非 *HP* 非 NSAID・難治性胃・十二指腸潰瘍に焦点を当て、病態、診断、治療について議論したい。